

短歌・俳句で綴る

御代田の四季

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。

短歌

強がりもここらあたりかおそなつ晩夏の風のさびしさうへな肯ひて佇つ

大池 講子

野の川に遊ぶごとくに一枚の蕨の黄葉ゆつくり流る

桜井みさを

にこやかに微笑かくる芙蓉花勤めの前に癒されし吾

相田 房江

俳句

当期雑詠

夕闇の月光菩薩虫浄土

大高 霧海

大根蒔くこんななに小さき黒い種

松浦 靖子

針に糸通れば吉日秋裕

澤田 勝彦

浅間嶺の斜光の色も秋の声

石川 政司

爺の顔婆の顔して栗を剥く

石川 弘美

菊人形武士の背中に隙があり

内堀 隆久

サークル さあ来る。

ボランティア
グループ編

ナルク東信州・みよた (ニッポン・アクティブライフ・クラブ)

ナルクの本部は大阪にあり、全国に133 (平成23年7月現在)の拠点があります。長野では6拠点あり、我が「みよた」は設立して7年が過ぎました。会員数は90名で、「生きがい」「助け合い」「奉仕」「自立」を基本理念としています。会員同士のボランティア活動は、時間預託制度を取り入れ、お互いにサービスを受ける人、提供できる人との相互交換性で、できることを、できるときに、無理をせず楽しく活動していきます。現在直面している、一人暮らしの老人世帯の話しかけなどのコミュニケーションの取り方も一つの課題です。今後は「地域ぐるみの子育て支援」を学び、活動を希望する会員や一般町民、子育てに関心が薄くなりがちな男性にも参加を呼びかけ、研修やセミナーを通してつながりを持ち、子育ての大切さを実践していきたいと思います。

事務局長 市村壽三夫



Man Watching #138

食べるのが大好きです♡

- ◎1 趣味は?
テニス
- ◎2 おすすめスポットは?
浅間縄文ミュージアム
- ◎3 理想の人は?
信念のある人
- ◎4 夢・目標は?
世界一周
- ◎5 まちづくりに一言
子どもの笑顔が絶えない町に



かわむら ゆかり
河村 友香 さん

Let's try English!

Message FROM
Paul Wellington Harris
(中学校AET)
Vol.157



Last week I saw an article in the newspaper that said black bass are eating plankton in Lake Shirakaba. I can't read Japanese, so I did not read the whole article. But it made me think about bass in Japan. I love all kinds of fishing, but bass fishing is my joy. Black bass have a negative in Japan. I sometimes see posters in schools that say do not release black bass back into the lake. So it must be "Catch and KILL!" I know black bass is not a Japanese native fish. It comes from the U.S.A. I also know that bass are eating Japanese native fish like, pond smelt. But Black Bass have been in Japan for a long time and they have become a part of the natural environment here. I hear many Japanese people complain about bass, so I want to give some examples and share my opinion about those complaints.

For example, I hear people say, "Bass have no natural predators in Japan." But the number one enemies of bass are lizards and carp. Carp and lizards eat bass eggs in summer. Next, I hear people say, "Bass fishermen are rude!" But not ALL bass anglers are rude. Some anglers, not only bass anglers, are noisy and leave garbage at the lakes. Finally, I hear people say, "You can't eat bass!" So I say, "Why?" They reply, "It's not delicious!" Then I say, "Oh have you ever eaten bass?" And they say, "No, I have never eaten it." The truth is bass can be eaten. It tastes like all other fish that live in rivers and lakes. Ask me for a recipe one day! "Catch and Eat" is better than "catch and kill!"

Bass are exciting fish. They are very clever and they eat many kinds of things. So there are many lures you can use to catch them if you are clever. The excitement and power of a bass catch will make your heart jump... EVERY TIME! To be honest, I think the environment is why there is a decrease in fish. We have to protect our lakes and rivers from pollution. "If we hurt nature, we hurt ourselves." -Yasuo Ohta



白樺湖ではブラックバスが、プランクトンを食べているという記事を、最近ニュースで見ました。僕は日本語が読めないので、実際に記事を読んではないのですが。しかし、この記事によって、日本のブラックバスについて考えさせられました。僕は、釣りは何でも好きなのですが、バス釣りは僕の楽しみです。日本ではブラックバスはあまりいいイメージではありません。学校でも、ブラックバスを湖に放すな、というポスターを見たことがあります。それはまさに「キャッチアンドキル!」ということですよ。ブラックバスは、元々日本にいた魚ではないことは知っています。アメリカから来ました。また、ブラックバスがワカサギのような、日本に元々いる魚を食べていることも知っています。でも、すでにブラックバスは長いこと日本にいるし、今や生態系の一部となっています。多くの日本人の方が、ブラックバスについて意見をおっしゃっていますので、僕も自分の意見を述べてみようと思います。

例えば、日本にはブラックバスの天敵がいなるといわれていますが、鯉やトカゲが天敵です。鯉やトカゲは夏になるとブラックバスの卵を食べます。次に、「バス釣りをする人たちはマナーがない」と言われていますが、全員がそうだというわけではないと思います。バス釣りをする人に限らず、何人かの人は騒がしいし、湖にごみを捨てます。最後に「ブラックバスって食べられないし!」という人がいます。「なんで?」と聞くと「おいしくないもの」と。そこで僕が「へえ、食べたことあるんだ」と聞くと「ない」と。実を言うと、ブラックバスって食べられるんです。いつか僕にレシピを聞いてください。ほかの魚と全く一緒ですよ。「キャッチアンドイート」の方が「キャッチアンドキル」よりずっといいと思います。

ブラックバスって本当にワクワクする魚です。とても賢いし、本当に色々なものを食べるんです。ですので、あなたがちょっと頭を使い、様々なルアーを駆使すれば釣ることができます。バスの引きの強さを経験したら心が踊りますよ...毎回ね! 本音をいうと、環境的な問題で湖の魚が減っているのです。公害から僕らの湖を守らなければいけないと思います。前月号で紹介した、オオタヤスオ君が言っていました、「自然を傷つけるということは、自分が傷つくということです」と。